



碧南市	所属議員	石川輝彦・神谷 悟
------------	------	-----------

産業目線

【活動選定項目】	① カーボンニュートラル(CN)への対応	
具体的取り組み項目	<p>【長期】 ・再生可能エネルギーの利用促進 ・省エネルギーの促進 ・緑地の保全と整備の促進</p> <p>【中期】 ・市内公共施設への充電ステーションの設置 ・水素ステーションの誘致</p> <p>【短期】 ・次世代自動車購入補助制度の拡充 ・公用車への次世代自動車の導入促進</p>	
前回まで 活動状況	<p>○カーボンニュートラルに向けた勉強会・先進地への視察を実施 ⇒環境省との勉強会、火力発電所との勉強会を開催、水素・再生エネルギーへの取り組み、電気バスの導入等の視察を実施</p> <p>○カーボンニュートラルへの対応に向けた諸施策の提言 ・一般質問による提言・・・令和3年9月（神谷）、令和3年12月（石川）、令和4年6月（石川）、令和5年6月（神谷）が実施 ・要望書の提出・・・令和3年9月27日及び令和4年9月29日に提出</p>	
今回 具体的活動	<p>○カーボンニュートラルに向けて“MIRAI”を投入！</p> <p>・ゼロカーボンシティの実現に向けて、これまで17年間レクサスLS400が碧南市の公用車（市長車・議長車）として使用されておりましたが、かねてより発注をしておりましたトヨタ“MIRAI”2台が令和5年5月に納車されました。（リース契約） また、12月末には、トヨタ“bZ4X”1台が納車予定となっています。 これからも使用年数や走行距離等を勘案し、脱炭素の時代にあった公用車となるよう、順次切り換えていくように取り組んでいくことを提言して参ります。</p> <p>○6月議会での一般質問を実施（神谷悟）</p> <p>・脱炭素社会を見据えた取り組みについて Q：脱炭素社会に向けた公共施設の取り組みについては、 A：本庁舎照明のLED化を進め、令和5年度末時点で進捗率は、74%となる予定。 その他の公共建築物は、94施設あり計画上では令和12年度末で100%にする予定となっている。 Q：カーボンニュートラルに対して、市民が身近に活用できる支援メニューの創出についての施策はあるのか？（省エネ家電の購入補助（冷蔵庫、エアコン、LED照明灯）及び、宅配ボックス設置支援を提案した。） A：他市の施策や国、県の支援メニュー等を調べながら、碧南市としてどのような支援が施策としてできるのか検討する。</p>	 <p>《次世代自動車 MIRAI を導入》</p>  <p>《6月議会にて一般質問を実施》</p>
今後の活動	<p>・短期目標の次世代自動車購入補助の拡充、公用車への次世代自動車の導入については、目標の達成ができたと思う。今後は、中期目標についてスピード感を持って取り組んでいく。</p>	